

てんだあ 第28号

『てんだあ』とは英語で「やさしさ」という意味です。 2014年4月

〒295-0004 千葉県南房総市千倉町瀬戸2705-6 TEL (0470) 44-3577/FAX (0470) 44-3542
ホームページアドレス <http://www.shakyo-minamiboso.or.jp>

南房総市社協の
マスコット
キャラクターが
決まりました♡



この子の名前は
次号ご紹介♪

C CONTENTS ~主な内容~

- 第8回南房総市社会福祉大会 2P
- 福祉作文 3P
- 福祉ニュース
地域福祉フォーラムレポート 5P
- ボランティアネット(和)ーク 6P
- ワンポイント介護、相談日程 7P
- 善意の寄付、ちょっといい話
お達者サロン募集のお知らせ 8P

☆ デザイン作者の ☆ コメント

房総の「ぼ」を擬人化したもので、
海をイメージして体の色はブルーに。
左手の花は「南房総」と「やさしさ」を
イメージし、中に南の「み」を入れ、
親しみやすく可愛い
キャラクターとしました。

新潟県三条市 三巻保証様



芍薬 (シャクヤク)

はなことば：はにかみ・恥じらい

「住民参加によるふれあい・支えあいのある 心豊かな福祉のまちづくり」を目指して

第8回 南房総市社会福祉大会を開催



募金箱コンクール優秀作品の表彰

第8回南房総市社会福祉大会が2月15日(土) 三芳農村環境改善センターにおいて開催されました。

「住民参加によるふれあい・支えあいのある心豊かな福祉のまちづくり」の実現を目指して、地域の皆様とともに社会福祉の充実に向け一層の推進を誓いました。

また、社会福祉活動にご尽力され功績のあつた方々への表彰と感謝状の贈呈、赤い羽根募金箱コンクール作品の表彰、市内小中学校・高等学校の児童・生徒からの心温まる福祉作文の発表に続き、記念講演が行われました。

また、市ボランティア連絡協議会主催「第1回南房総市ボランティアまつり」も同時開催されました。市内から多くの登録団体が出席し大盛況でした。

表彰された皆様おめでとうございます

南房総市社会福祉協議会長表彰 (敬称略)

【地域福祉活動功労者】

金房 保、加藤安衛、川崎雅是、川名和子、佐藤正子
清宮和子、眞田邦彦、石井一保、武内智子、小滝信道
平川雅子、太田忠孝、平井恵美子、磯辺節子、加藤和子

【地域福祉功労団体】

とみうら絵本だいきの会(富浦地区)、富山高校生と歩む会(富山地区)、ほほえみ会(千倉地区)、扇祥会(和田地区)

南房総市社会福祉協議会長感謝状 (敬称略)

黒川和之(和田地区)、金井三郎(丸山地区)、大貫小松寺もみじ祭実行委員会(千倉地区)

【福祉作文コンクール優秀作品表彰】

小学生の部

最優秀賞 白川かや子(三芳小) 優秀賞 太田優羽(富山小)、御子神七海(丸小) 優良賞 小栗倅太郎(富山小)、小滝 睦(健田小)、佐久間瞳衣(南小)

中学生・高校生の部

最優秀賞 芳崎なつみ(安房拓心高) 優秀賞 早川空良(丸山中)、安西 詩(富浦中) 優良賞 吉野七海(富山中)、清水あかり(千倉中)、遠藤百華(和田中)

【赤い羽根募金箱コンクール優秀作品表彰】

最優秀賞 田仲伶衣(七浦小) 優秀賞 石井晴也(富浦小)、石井陸斗(富浦小)、青木瑞歩(健田小) 優良賞 安田有希(健田小)、波々壁心都(七浦小)、安達愛斗(七浦小)

【南房総市社会福祉協議会マスコットキャラクター優秀作品】

最優秀賞 三巻保証(新潟県三条市) 優秀賞 宮川さやか(長野県長野市)、平柳美智子(南房総市)

記念講演

「いつまでもイキイキ! 楽しく生きてこそ」

フリーアナウンサー・介護番組司会 小谷 あゆみ氏

記念講演では、介護に係わっている方が日常生活の中で感じた思いを短歌にして詠む「介護短歌」を題材にお話をいただきました。

『腹が立つ 空に向かってパンチする すっきり笑顔で また介護する』31文字の中に、家族への愛情、いたわり、やさしさ、時には悲しみ、いらだち。「喜」「悲」「喜怒哀楽」を紙に書き出せば気持ちが楽になる! あるがままを受け入れて、前向きに生きる事の大切さを教えていただきました。

参加者の皆さんとクイズ形式でのやりとりや、お互いに笑顔になる方法など、小谷さんの明るい人柄に引き込まれ会場の参加者もみんなが終始笑顔の講演会でした。



お互い笑顔になるには
相手を褒めましょう

育まれる「福祉の心」 福祉作文コンクール最優秀作品

市内の児童・生徒の皆さんが体験した「福祉への思い」をテーマとした作文434編もの応募があり、その中から選ばれた最優秀作品を紹介します。

最優秀賞
《小学生の部》

「明るい未来を祈って」

南房総市立三芳小学校

6年 白川 かや子

「福祉」というと、私は、お年寄りの方や障害をもつ方を連想します。そんなお年寄りの方や障害をもつ方を支援する、福祉施設が、今たくさんあると思います。私は、その福祉施設がとてもあたたかい場所だと思っています。そう思ったのは、老人ホームやグループホームに、何度が太鼓の演奏に行った時です。

私は、安房八幡太鼓の「みよし風の子」というチームに入っています。私達「みよし風の子」は、よく老人ホームやグループホームに太鼓の演奏をしに行きます。私達が太鼓を演奏すると、お年寄りの方々はとても喜んでくれます。

太鼓をたたいている間は、ニコニコしながら、楽しそうに手拍子をしたり体でリズムをとったりしてくれます。演奏が終わると、

「ブラボー！」

「アンコール！」

など」と声をあげてくれる方もいます。そんな時、私は、ちよつとはずかしいと思いますが、本当はうれしいのです。自分が太鼓をたたくことで、たくさんのおじいちゃんやおばあちゃんが笑顔に

なってくれるということがとてもうれしいのです。

他にも、施設の職員の方がお年寄りの方にやさしく声をかけているところを見たり、ろう下であいさつをしたりして、このような施設があたにかい場所だと思いました。

また、福祉には、障害者の支援があります。世間では、障害者の福祉に対する関心が低いといわれているそうです。確かに、障害をもつ方が変な目で見られるなど、障害をもつ方が人に親切にされていないというのは、私も感じます。テレビを見ていてそう感じることもあります。それは、とても悲し

いことです。障害をもつ方だって、まわりの人と同じ一人の人間です。それなのに障害をもつ方とまわりの人とで接し方がちがっているというのは、おかしいことです。おかしいことだけど、現実はそのようになってるのです。障害をもつ方たちにとってより住みやすい世の中にしていくために、この現実を改善していくべきことだと思います。

私は、障害をもつ方に関する本を何冊か読みました。そしたら、ほんの少しかもしれないけど、障害をもつ方のことが理解できた気がしました。

でも、これは、個人の力では改善できません。多くの人が障害をもつ方について理解を深め、力を合わせる必要があります。

調べたところ、「福祉」とは、たくさんの人々に平等に分けられる幸せのことだそうです。また、みんなが幸せに楽しく暮らせるような社会を、「福祉社会」というそうです。そんな、「福祉社会」を進める取り組みを広げていけば、障害をもつ方はもちろん、それだけではなく、お年寄りの方にとっても住みやすい世の中になっていくと思います。

そして、「福祉社会」を進めるには、もちろん国の社会保障の制度を整えることも大切だと思います。でも、本当に一番大切なのは、人々の「心」「気持ち」であるはずで、ただ、制度やしくみをつくただけではなく、人々が障害をもつ方やお年寄りの方たちを理解し、思いやりの心をもってあたかく接することが、本当のみんなにとって住みやすい世の中に、つながると思います。

これから、もつともつとあたたく、だれにとつても住みやすい、明るい未来がやってくると良いです。

最優秀賞

《中学生・高校生の部》

「寄り添って」

千葉県立安房拓心高等学校

2年 芳崎 なつみ

私には母方の祖父がいるが、一
緒には住んでいない。自転車で

十五分とかからない所に住んでいても、めったに会うこともない。そのことについて、私は何の疑問も持たずにいた。忙しいからと気にもとめずにいた。しかし、今年の夏、インターアクト部の活動でボランティアに行った老人ホームでの体験が、それまでの私の考えが間違っていたということを教えてくれたのだ。

私たちが訪れたとき、利用者の方々は共有スペースに集まり、テレビを見たり話をしたりと自由な時間を過ごされていた。ホームの職員の方が、五・六人の集団の元に私たちを案内し、紹介してくださった。すると、その方々は、温かく私たちを話の輪に入れてくださった。そのおかげで、私の緊張もほぐれ、笑顔で自分から話しかけることができた。自己紹介が済むと、私たちはたくさんの質問を受けた。話は途切れることなく続き、戦時中のことや学生時代のこと、更には、都会に住んでいたときのことなど、さまざまな話題に花が咲いた。普段、お年寄りと接する機会がない私にとっては、とても新鮮で楽しい時間だったのだ。

しかし、そのような楽しい時間はあつという間に過ぎ、別れの挨拶をするときが来た。

「来てくれてありがとう。」
「気をつけてお帰りなさい。」

などと、口々に声をかけてくださった。その中で最も印象に残っているのは、

「なかなか孫と会えないから、孫と話をしているみたいで楽しかったわ。」

という言葉だ。その言葉を聞いて、私はハッとしました。孫に会いたくても会えない人もいると思うと、すぐに会いに行ける距離に住んでいながら全く会に行かないなんて、私はなんて薄情なのだろうと思っただけ。ほんの少しの会話でこんなにも喜んでくれるのに。もったいないことをしていたと心から反省した。

それ以来、私はときどき祖父に会いに行くようになった。お互い口数が多いほうではないので、ずっとおしゃべりをしているというわけではない。学校のことや最近興味のあることなどが話題になる。また、一緒にテレビを見たりお菓子を食べたり、ときには祖父の側で勉強をしたりしているだけだ。決して、特別なことをしているわけではないが、なんだか普段よりゆったりとした時間が流れているようで、とても居心地が良いのだ。祖父も私と同じように感じていてくれたらどんなに嬉しいことだろう。人と繋がるといことは、こんな気持ちになることなのではないかと思った。そして、日々

の生活のなかで、たくさんの人との繋がりがあっても気がついた。毎日顔を合わせる家族、たまに会う祖父や親戚。更には、回覧板を届けるときやゴミを出すときに会う近所の人、登下校中に出会う散歩をしている人、農作業をしている人などだ。

人との繋がりが広がれば、それだけ多くのことや新しいことを学ぶことができる。自分とは異なる価値観を持つ人と関わりを持つことで新たな発見ができ、人の意見を尊重することを覚えたりすることができるようになる。自分の未熟さに気がついて苦しい思いをすることもあるだろう。しかし、その経験によって私たちは、自分が社会の一部であることを自覚しながら成長することができるのではないだろうか。

私が今回の体験で学んだのはこれだけではない。相手の立場に立つて考えるという視点の大切さだ。祖父との繋がりをこれまでで自分の立場からしか考えることができなかったが、祖父の立場に立つて考えてみようとする意識が私のなかに芽生えたのだ。孫に会えない。私には気にとめる必要さえないように感じられることも、祖父にとつては、それが孤独感や寂しさ、更には、日々の喜びの減少へと繋がっているのではと感じ

たのである。そしてそれは、今回の老人ホームで出会った利用者さんや同じような境遇にいるお年寄りにもいえることだと思った。

高齢化が進むなかで人との繋がりが疎遠になり、孤独に生きているお年寄りも少なくないだろう。その原因は私たちにあり、そのお年寄りに手を差し伸べることができないのも私たちのものだ。その事実を、私たちは心に刻む必要があると思った。特別なことや専門的なことなどできなくてもいいのだ。側に寄り添い話をしたり、日常生活のちょっとした手伝いくらいならできるだろう。そして、道で出会ったときに、挨拶だけでも、

「お体の具合はどうですか。」

「お出かけですか。」

と声をかけ、気配りをするくらいならできるはずだ。そんなことで孤独感や寂しさを少しでも取り除くことができるなら、良い人間関係を築くことができるだけでなく、自分自身の心の成長や進むべき道に気づくことができるにちがいない。そんな人との繋がりを私は心から大切にしていきたいと思った。

社会福祉協議会の会員募集

ご協力ありがとうございました。

- 一般会費
13,354,100 円
- 賛助会費
740,000 円
- 特別会費
1,040,000 円

平成25年度社会福祉協議会会員募集に際しまして、多くの市民の皆様からのご協力をいただきありがとうございました。また、行政区の区長様はじめ役員関係者の皆様には会費納入にあたりご協力をいただき感謝申し上げます。

ご協力いただきました会費は、平成25年度の地域福祉・在宅福祉の充実、ボランティア育成等のために有効に活用させていただきました。

社会福祉協議会はこれからも市民の皆様、関係諸機関や団体の皆様とともに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりに精一杯努めて参りますので、今後とも温かなご支援、ご協力をお願い申し上げます。



FUKUSI NEWS

福祉ニュース
このコーナーは、地域福祉に関するニュースやお知らせを紹介します。

1月31日
2月5日

お灸で、
心も体もリフレッシュ

介護者のついで

今回は「自分でできる健康灸教室」と題し、ま
ちの先生に登録されている、鍼灸師の上野勝
先生をお招きし、体のツボの押し方・お灸の
すえ方・在宅で行える手技などを学びました。
日頃ご家族を懸命に介護されている参加者
の皆さん、辛い・痛い・疲れている所など、そ
れぞれのお体の症状に合う「ツボ」を教えてい
ただきました。

年季の入った辛い凝りは、一回お灸をすえ
ても熱く感じない方もいましたが、ツボを習
いながら「ああ、そこそこー」「痛い！でも気
持ちはいい」との声も
聞かれました。日頃
介護をされているお
互いの介護状況の情
報交換もされ、会話
も弾みました。心も
体も温かく楽しいひ
と時が過ごせた介護
者のついででした。



「じんわり温かいね～」

地域福祉フォーラム 各地区からのレポート

南房総市社協では、立場の違う住民の方々が集まり、日頃感じていることや地域の福祉課題・ニーズの掘り起こしなど、これからの地域づくりや隣人同士のたすけあいの実現に向け話し合うため、「地域福祉フォーラム」を各地区単位で開催しています。
今回は国府・白浜地区の活動状況をレポートします。

2月1日

マジックとゲームで大いに盛り上がり！

《国府地区地域福祉フォーラム》

国府地区のフォーラムは、幅広い世代の方々に集ってもらいたいとの思いで企画し、その結果、子供とその保護者や祖父母の方々、そして地域の方々で大勢参加を頂きました。

白浜在住の押本さんによる次々と繰り出されるマジックに目を見張り、その中でも時々笑いを誘うお話をされ、会場はすっかりリラックスムードになりました。

午後は6つのチームに分かれてゲーム対戦をし、子供も大人も優勝目指して一致団結！地域の絆を感じ取れた有意義な1日となりました。



不思議なマジックにびっくり！

1月28日

みんなで支え合う地域を目指して

《白浜地区地域福祉フォーラム》

白浜地区のフォーラムは、在宅体験講座と認知症サポーター養成講座をテーマとし、44名の参加者がありました。

最初に地域包括支援センターリブ丸山の川名真啓氏、おもしろいやりの郷の伊藤宏氏を講師に認知症サポーター養成講座を行い、参加者は熱心に講師の話に耳を傾けていました。講座終了後には、福祉用具事業所がベッドや車いす、歩行器など介護用品の展示と説明があり、実際に機器に触って体験しました。

家族が認知症や介護が必要となった時、困らないよう体験を通して、またわからないところは質問をして、実りあるフォーラムとなりました。



新型ベッドの機能に興味津々

ご報告



歳末たすけあい募金は、配分委員会において審議し、支援を必要とする方や施設へ民生委員を通じ、お届けいたしました。

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金
ご協力ありがとうございました。



赤い羽根募金 6,958,534円 歳末たすけあい募金 6,861,591円

10月からの赤い羽根共同募金、そして12月からの歳末たすけあい募金では、市民の皆様から、多くの温かい善意をお寄せいただきました。

行政区を通しての戸別募金をはじめ、市内の商店街や会社、各学校の児童・生徒の皆さん、各種団体やボランティアの方々など、多くのご協力をいただきありがとうございました。

南房総市ボランティア
連絡協議会

2月15日

第1回南房総市ボランティアまつり開催♪

たくさんの出店で賑わう

南房総市社会福祉大会と同日開催された、第1回南房総市ボランティアまつりには、あいにくの天候にも関わらず多くのボランティア団体が参加し、日頃の活動紹介や手工芸品等の販売、人形劇、福祉体験コーナーなど子供から大人まで楽しめるブースで溢れ大賑わい。

また、各ブースでの売上金の一部をご寄付いただきました。ご協力ありがとうございました。



子供から大人まで楽しめる工作コーナー

広がれ!

ボランティアが活動をレポート

ボランティアネットワーク

南房総市内では、いろいろな技術や知識を持ったボランティアグループが活動しています。ここでは、ボランティアグループから届きました活動レポートをご紹介します。

給食
ボランティア

1月29日
2月6日

美味しいお弁当をお届けしたくて

給食ボランティア養成講座

ひとり暮らし高齢者の安否確認を目的とし、お弁当をお届けするふれあいランチサービスにご協力頂いているボランティアさんを対象に、給食ボランティア研修会を開催しました。

特別養護老人ホーム「伏姫の郷」の管理栄養士瀧口喜美子さんを講師に迎え、高齢者向けお弁当メニューの調理実習です。日頃、使う事の少ない食材や調味料を使い、いつもと違うおかずが完成すると「美味しいですね!」「早速メニューに取り入れてみるわ!」などの声も聞かれ有意義な研修会となりました。



喜んで食べてほしいわ♪

ボラ登録
更新のお知らせ

市内で福祉活動を展開しているボランティアさん!

4月1日
から

平成26年度ボランティア登録受付が始まります

南房総市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、市内で福祉活動を展開しているボランティアの育成とその活動を支援するため、平成26年度のボランティア登録の受付をします。

登録には一定の要件を満たすことが原則となっていますが、登録された場合、下記の支援が受けられます。

●登録された方への支援●

- ①社会福祉協議会が契約しているボランティア活動保険への加入
- ②社会福祉協議会が発行する情報誌等への活動内容の掲載や、活動に関する相談、助言
- ③ボランティア活動助成金の交付
- ④社会福祉協議会ボランティアセンターへ登録した各団体同士の情報交換や交流

登録を希望されるボランティア(団体・個人)の方は、南房総市社会福祉協議会(本所)またはお近くの地域福祉センターで登録の手続きができます。ぜひ、この機会に登録をお願いします。



ホームヘルパーの ワンポイント

かいGO 介護

急な発熱の対処法

簡単・便利！ 保冷剤を活用してみましょう

今年もインフルエンザが流行しましたが、急な発熱に「どうしよう！」と慌てた方もいるのではないのでしょうか？
そんな時、どこのご家庭にもある保冷剤が活躍します。



保冷剤の 使い方

- ①保冷剤を湿らせたタオルに巻きます。
- ②そのタオルを首やわきの下、冷やしたい部分に当てます。



※首やわきの下に当てると、身体全体を冷やす効果があります。保冷剤が無い場合はペットボトルに水を入れて、冷凍庫で凍らせたものでも代用できます。

夏場の熱中症対策にも活用して下さい。

介護についてのご相談は
南房総市社会福祉協議会ケアプラン
センターへ。

問 い 合 わ せ

- 南房総市社会福祉協議会
ホームヘルプサービス ☎29-5021
- 南房総市社会福祉協議会
ケアプランセンター ☎29-5022

【 各種 相 談 】

◆**心配ごと相談** ～日頃の悩みや困りごとは～
時間／午後1時30分～午後4時

4月	5月	6月	場 所
9日(水)	14日(水)	11日(水)	とみうら元気倶楽部
9日(水)	14日(水)	11日(水)	ちくら介護予防センターゆらり
11日(金)	9日(金)	13日(金)	富山公民館
16日(水)	21日(水)	18日(水)	白浜保健福祉センターはまゆう
18日(金)	16日(金)	20日(金)	三芳保健福祉センター
21日(月)	20日(火)	20日(金)	丸山公民館
23日(水)	28日(水)	25日(水)	和田地域福祉センターやすらぎ

◆**無料法律相談** ～法律に関することでお悩みの方～
時間／午後1時～午後4時
予約・問い合わせ ☎44-3577

開設日	場 所	担 当
4月24日(木)	ちくら介護予防センターゆらり	弁護士
5月29日(木)	和田地域福祉センターやすらぎ	司法書士
6月26日(木)	とみうら元気倶楽部	弁護士

○事前予約申込：随時電話にて予約を受け付けます。
○定 員：6人（相談はおひとりにつき30分まで）
○そ の 他：調停中や裁判中の事件の相談ならびに同一内容についての再度の相談は応じられません。

◆**結婚相談** ～よい出会いを応援します～

時間／午前10時～正午 問い合わせ ☎44-3577

4月	5月	6月	場 所
4日(金)	2日(金)	6日(金)	ちくら介護予防センターゆらり

詳しくは 南房総市社会福祉協議会 ☎44-3577

交 付 申 請 の お 知 ら せ

紙おむつを給付します

南房総市内に在住し、**在宅で日常生活のほとん**
どに介護を必要とする方に紙おむつを給付します。

○紙おむつ給付事業

対 象 者	①1日中ベッド上で過ごされ日常のほとんどに介護を要する要介護認定3・4・5の方
	②身体障害者手帳1級・2級の方
	③精神障害者保健福祉手帳および療育手帳をお持ちの方
品 目	テープ式紙おむつ・尿取りパット・フラットタイプの内1品目
提 出 書 類	①紙おむつ給付申請書(民生委員の意見が必要になります) ②介護保険証または障害者手帳などの写し

○高齢者介護用品支給事業

対 象 者	①65歳以上で要介護4・5の方 ※要介護高齢者の属する世帯全員が前年度市民税非課税世帯
	品 目 テープ式紙おむつ・尿取りパット・紙パンツ ※1回あたり25,000円以内
提 出 書 類	①高齢者介護用品支給申請書 ②介護保険証の写し ③購入希望先業者の見積書

申込期限／平成26年4月25日(金)まで

給付月／平成26年6月

申込先／南房総市社会福祉協議会(本所)
またはお近くの地域福祉センター

たくさんのまごころ
ありがとうございます。

善意の寄付

敬称略/平成25年12月～平成26年2月

「舞花」カラオケ愛好会	77,111 円
有限会社 青木酸素商店	8,510 円
体協ゴルフ部白浜支部	28,383 円
黒川 洋子	50,000 円
鋸南ロータリークラブ	30,000 円
白浜中央医院福祉箱	22,752 円
三石山観音寺(講)	50,000 円
富浦町建設協同組合	30,000 円
デイサービスとみやま利用者一同	5,537 円
南房朝市組合	15,688 円

加瀬 輝雄 (物品寄付: もち米 60kg)
匿名 6件 293,900 円

第1回南房総市ボランティアまつりでご協力いただいた方々のご寄付

平舘むつみ会	2,000 円
オレンジの会・もみじ会	10,000 円
デイサービスとみやま・しらほま	4,530 円
ボランティア連絡協議会千倉支部	2,000 円
ランチサービスちくら	3,000 円
茶香会	1,000 円
ふれあい喫茶なごみ	1,000 円
南三原手作り教室	1,000 円
なみはらっこくらぶ	1,000 円

この寄付金は、本会福祉振興基金に積み立て、以後地域福祉向上のため有効に役立たせていただきます。ありがとうございました。

《要介護にならないために》

お達者サロン 開設のお知らせ

南房総市社会福祉協議会では、市の委託を受けてH26年4月から介護予防(主に閉じこもり予防)のために身近な地域において地域交流の場となる介護予防通所事業(通称:お達者サロン)を開設いたします。ただ今、ご利用者様募集中です。



●開設場所

	内 房 地 区	朝 夷 地 区
月	富山地区 ふれあいスポーツセンター	和田地区 和田地域福祉センターやすらぎ
火	富山地区 ふれあいスポーツセンター	白浜地区 白浜保健福祉センターはまゆう
水	富浦地区 元気倶楽部	丸山地区 丸山公民館
木	三芳地区 三芳保健福祉センター	白浜地区 白浜保健福祉センターはまゆう
金	富山地区 富山コミュニティーセンター	千倉地区 介護予防センターゆらり

●事業内容: 週1回 2～3時間程度(午前中)

心身機能維持向上のための活動を行います。

●利用料金: 200 円 *希望により送迎いたしますが、送迎代として片道100円(往復200円)がかかります。

申込先・お問い合わせは… 南房総市健康支援課(36-1152)または南房総市社会福祉協議会まで

編集後記

- ★ボランティアまつりでは、皆さんの日頃の活動を身近で見ることができ、ボランティアの力の大切さを改めて実感しました。(S)
- ★福祉作文、読んで頂けましたか?南房総には福祉について真剣に考えている子供たちがたくさんいます。未来の宝です。(Y)
- ★社協のマスコットキャラクターが決まりました。素敵なものを考えていただき感謝です。皆さん可愛がってください。(H)

*各種相談日程はP7にあります

一 発行・編集 一

社会福祉法人 南房総市社会福祉協議会

◆本所 南房総市千倉町瀬戸 2705-6

☎ 44-3577 ㊚ 44-3542

- ◆富浦地域福祉センター ☎ 33-4565
- ◆富山地域福祉センター ☎ 57-2926
- ◆三芳地域福祉センター ☎ 36-2276
- ◆白浜地域福祉センター ☎ 30-5122
- ◆千倉地域福祉センター ☎ 44-3541
- ◆丸山地域福祉センター ☎ 46-2200
- ◆和田地域福祉センター ☎ 47-3390
- ◆ホームヘルプサービス ☎ 29-5021
- ◆ケアプランセンター ☎ 29-5022

みてみて!



facebook



twitter

